

2021年9月21日

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記の検査項目を新たに受託開始させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

今後も弊社では皆様方のご要望にお応えできるよう、検査内容を充実させて参りますので、何卒お引き立ての程、宜しくお願い申し上げます。

敬白

記

【新規受託項目】

検査項目名	組織因子経路インヒビター2(TFPI2)
コード No.	(新システム) 13657 / (従来システム) 6090
検体量	血清 0.5mL
採取容器	B (汎用容器) → 1 (血清・血漿分離容器)
保存方法	凍結
検査方法	EIA
基準範囲	191.0未満 pg/mL (卵巣明細胞癌の判別カットオフ値: 270pg/mL)
所要日数	3~4日
検査実施料/判断料	190点 / 生化学的検査(Ⅱ) 144点
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠時はTFPI2値が高値となるため、妊婦検体の測定には適しません。 ・必ず弊社指定の採血管(容器B)にて採血してください。採血後、十分に転倒混和し、凝固反応を確認してください。(凝固反応が不十分の場合、高値を示すことがあります。)凝固反応後、遠心分離までの放置時間が長くなると、測定値が徐々に低下することがありますので速やかに遠心分離し、血清分離後、弊社指定容器(容器1)にて凍結してご提出ください。

組織因子経路インヒビター2(tissue factor pathway inhibitor 2:TFPI2)は血液中に存在し、外因系凝固反応を抑制する生理的なセリンプロテアーゼインヒビターの1つであり、胎盤タンパク質(placental protein 5:PP5)と同一のタンパク質です。

TFPI2は卵巣癌の診断補助に用いる腫瘍マーカーとして、2021年4月1日に保険適用されました。

卵巣癌の腫瘍マーカーは複数項目の組み合わせ検査が推奨されていますが、代表的な卵巣癌マーカーであるCA125は、卵巣明細胞癌では感度が低く、月経や腹膜炎、子宮内膜症を含む良性腫瘍等でも上昇する場合があります。一方、TFPI2は健常人や良性腫瘍ではほとんど上昇せず、卵巣癌のなかでも特に明細胞癌で高値を示します。また、CA125との間に相関関係が見られないことから、両マーカーはそれぞれ異なる要因・作用機序により血中濃度が上昇すると考えられ、卵巣癌の検出において補完関係が示唆されます。

TFPI2を測定することにより、卵巣腫瘍の良性/悪性の判別および明細胞癌疑いの推定が可能となるため、簡便な血液検査による卵巣癌の診断および治療法の選択の一助となることが期待されます。

《検査方法の参考文献》 大竹 則久, 他: 東ソー研究・技術報告 62, 23~28, 2018.

【開始時期】 2021年10月1日(金) ご依頼分より

以上

尚、詳細につきましては、営業担当者またはインフォメーションまでお問い合わせ下さい。